

高野伸生委員 次に、まず環境局にお伺いいたします。

私の地元、南港ポートタウンにおけるごみ管路輸送の問題でございますけれども、市政改革プランで、現在のごみ管路輸送廃止ということで、約 4 年半の時間が経過いたしました。地元のほうでも、今、代替案がどのように受けられるか協議が始まったということでございます。

まず、その協議は協議として、この 29 年度予算も現行のごみ管路輸送の維持費及びまたこれからの代替設備についてのこれからの取り組みについての予算が計上されてますけど、その明細を改めてお伺いしたいと思います。

松井環境局総務部施設管理課長 お答えいたします。

平成 29 年度予算案につきましては、まず現行の管路輸送事業であります、運転経費としまして 9,500 万円計上しております。また、管路輸送施設の代替設備設置事業につきましては、住居系とスーパーや学校などの事業系を合わせて 2 億 1,500 万円計上しております。

その内訳でございますが、住居系では、輸送管処置の設計費などの委託料としまして 1 億 200 万円、事業系ではドラム撤去費用や輸送管廃止や撤去に伴う措置費用としまして 1 億 1,300 万円を計上するなど、必要な経費を確保し、準備を進めております。以上でございます。

高野伸生委員 代替案につきましては、現行の管路輸送の運転経費、それから管路廃止に向けた必要な経費を計上すると、今お示しをいただきました。

ところで、この南港ポートアイランド地区のごみ管路輸送については、昨年 12 月の民生保健委員会で、現在の中間案、いわゆる提案されてます真空式ごみ収集方式、これの導入可能性につきまして実地調査を行った結果報告を各管理組合に今行っているという話であります。

その中で、いろんな質問や意見があったと聞いておりますが、今後の進め方として、ごみ管路輸送に係る代替措置の導入について、各管理組合の皆様にご理解をいただくために、真空式ごみ収集方式とそれ以外の方法を比較できるよう設備面や経費面などの検討や整理を進め、年明け以降できるだけ早い時期にその結果を説明する場を設けるとのことです。

その上で、私からは住民の不安を解消する努力など引き続き行うとともに、この真空式ごみ収集方式について、メリット・デメリットをきちんと説明を尽くしていただきたいと思っております。

ところで、先ほどの議論ですが、年明け以降説明を開始されたということなんですけど、今、どのようになっているか現状を教えてください。

松井環境局総務部施設管理課長 お答えします。

2月4日より、約1カ月間にわたりまして、分譲マンションにつきましては、10団体の各管理組合に対しまして説明会を開催し、説明を行ってまいりました。

市政改革プラン策定後、約4年半が経過する中、これ以上住民の皆様にも今後のごみ収集についての不安や心配をおかけしないためにも、各管理組合の皆様に対しまして、今後の方針とスケジュールをお示ししてきたところでございます。

具体的には、設備の配置やイニシャルコスト・ランニングコスト、メリット・デメリットや導入に当たっての課題の整理を行い、その結果をもって、代替案を真空式ごみ収集方式とすること、現行の管路輸送は平成30年度末で廃止するという大阪市の方針をお伝えし、理解を求めたところでございます。

今後は、今回の説明会でいただいた御意見や御質問に対しても丁寧にお答えしていくとともに、29年度の早い段階には、真空式ごみ収集方式導入につきまして御判断いただけるよう、各管理組合の皆様にも引き続き説明をしていく予定としておるところでございます。以上でございます。

高野伸生委員 2月から各管理組合に対して説明会を開催して、今後の方針を一応お示しいただいたということでございます。

しかし、私も住民の一人として耳に入ってくるのは、まだこの資料提出が不十分なところがあり、最終的な判断を持ちかけるとこまで進むのがなかなか難しい。特に、来月4月、5月は、どこのマンションでもそうですけども、管理組合の総会というのが開かれます、年に1回、定例会。でもここで、やっぱりこの管路輸送の状況をいろいろ組合としては話をまとめていかなければなりませんので、そのための資料の提出というのはきっちりやっていただきたいと思えます。

それと、これはまだ確かに現行のままでもっと使えるんじゃないかという意見もあります。しかし、また一方で、現行のまま使えたとしても、もうこの設備が導入されて大方40年近くなってきました。やっぱり時々、とまったり中に水が入ったりとかして、いわゆる操業をとめなあかんときもあります。そういうのがまた続いてくると、結果的に不便を感じるので、早く代替案を住民の皆さんの間でまとめてもらって、新しい展開をできるように進めてほしいという方もいらっしゃいます。

いろいろまだ話は固まってないんですけども、そういう話し合いをやっていく中で、大阪市側の意向と住民の皆さんの意向というのは必ずしも一致して、すぐできるものじゃないと思います。やっぱり積み重ねていって、合意形成していくということが一番大事じゃなかろうかと思うんですが、そうなってくると、また今、課長から答弁ありました29年度の早い段階に、真空式ごみ収集方式を導入ということで今話をされてますが、一方で、管路輸送もそうなる、

廃止を決めていかなければならない、現在の管路輸送を。その兼ね合いが非常に難しいんで、やっぱり柔軟に、何か突発的なことが起こって修理せなあかん時期で、ずれてしまうとか、また意見がまとまらず、やっぱりこれみんな財産かかっている管理組合の総会ですから、なかなか意見収集が最後までまとめるに難しいと思いますけれども、そういう時間がかかるかもわかりません。そういう不測の事態が起きた場合は、ぜひ柔軟に話し合いに対応してもらえるように、強く要望いたしまして、この質問を終わらせていただきます。